

カリキュラム

D. データ活用	大量データ処理に活用するデータベース(基本編)
----------	--------------------------------

コースのねらい	業務の効率化を目指し、表計算ソフトでは対応できない大量のデータを処理するために必要となるデータベース技術を理解し、基本的なデータベースの構築方法を習得する。
---------	--

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)	
講義内容	1	データベースの概要	(1) Accessの概念 データベースとデータベースソフトウェアについて説明する。 (2) データベースの構造と機能 各オブジェクトの役割りと目的を確認し、操作方法を説明する。 (3) データベースの構築手順 データベースを設計、データベースを新規に作成、テーブル作成、リレーションシップ作成、クエリ作成、フォーム作成、レポート作成とデータベースを構築する手順を確認する。	1.0
	2	データベースの設計	(1) データベースの設計技能 データベース構築の流れと設計の方法を説明し、元となるデータベースを作成する。作成するテーブルの概要を確認し、データに合った設定方法で作成する。 (2) データの分類 リレーションシップの役割りと作成方法を説明する。	4.0
	3	抽出処理(クエリ)	(1) 選択クエリ クエリの概要を説明し、テーブルを基にデータの加工の仕方を練習する。 (2) 抽出条件設定 条件の種類について確認し、合致するレコードの表示方法や売上データなどの集計方法を練習する。 (3) レコードの並べ替え 効率よく入力出来るフォームの作成や、データを印刷するためのレポートを作成する。	7.0
			合計時間	12.0

カリキュラム作成のポイント
Accessを利用し、基本的なデータベース構築をする方法を学習する。元となるデータベースの作成から、テーブルによるデータの格納、クエリによるデータの抽出と集計、入力の効率化を行うフォーム、印刷のためのレポート作成など、各オブジェクトの役割りと目的を理解し、大量のデータの処理を円滑に行えるようにする訓練内容とした。

講師から一言
データベースを構築しながら、データベースの作成、データの格納やデータの加工・集計・抽出など基本操作ができます。